



## 鳥飼まちづくりグランドデザイン説明会開催報告

エリア：企業と住民の共存発展エリア

開催日時：令和6年5月26日（日）

午前10時00分～午前11時40分

テーマ：将来予想及び取組の方向性の確認  
小学校跡地活用事例の共有

開催場所：新鳥飼公民館・WEB

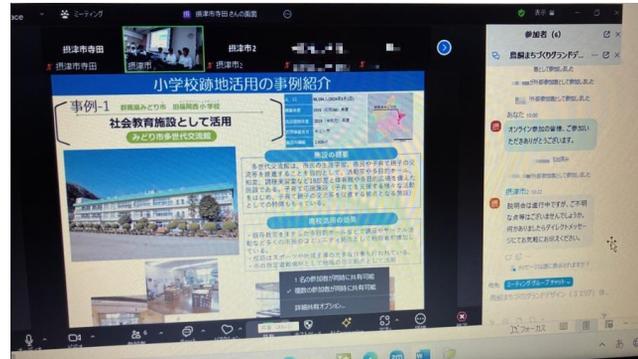
参加者数：24名（内オンライン参加3名）

今回の説明会は、公園や宅地が整然と整備されたまちなみに企業が多く立地している「**企業と住民の共存発展エリア**」を対象として開催しました。

今回の説明会においても、Zoomを活用したオンライン開催を行い、会場への参加が難しい方向けにWEBでの閲覧ができる環境を整備しました。オンライン参加者からも意見を聞き取ることができたので、今後も、幅広い世代の方に様々な形で参加していただくことができるよう、取組を検討してまいります。



会場の様子（21名）



オンラインの画面（3名）

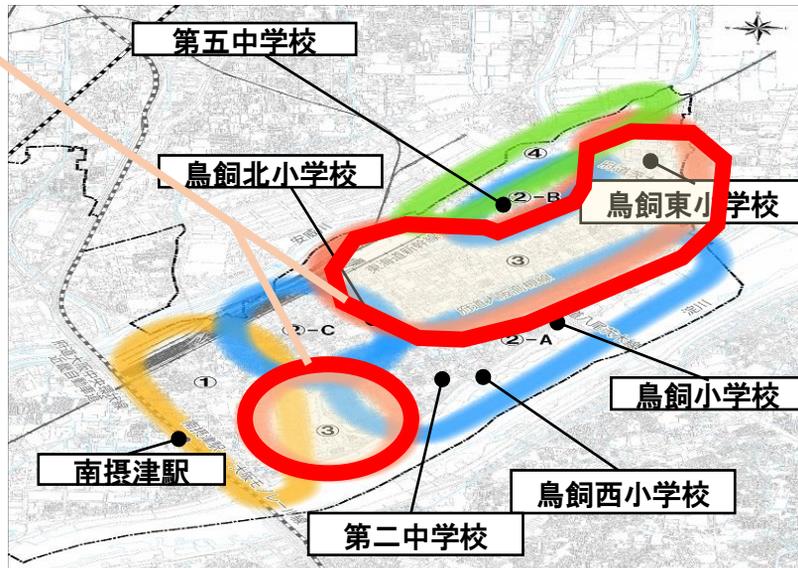
## 今回の対象エリアについて

工場や倉庫等の民間企業が多く集積していることを地域の資源と捉え、住民とともに地域を盛り上げ、水害時の避難・被災時の復興等においても**住民と企業が互いを理解し、協力し、共存発展していく**ことを期待するエリアです。

### 企業と住民の共存発展エリア



今回のエリアの将来予想（イメージ）



# 今回の内容

説明会では、将来予想の確定と前回実施した1回目の説明会でいただいた意見を紹介するとともに、それぞれの意見を実現させていくためには、既に設定している取組の方向性にどのように関連付けて取組を進めるべきかの確認を行いました。

また、エリア内に存在する鳥飼東小学校の統廃合後の利活用問題は、鳥飼まちづくりにおける喫緊の課題として捉え、他市町村で見られる小学校跡地活用事例を紹介しました。鳥飼東小学校区は広範囲にまたがるため、今後は隣接する他のエリア（居住性向上エリアB、田園エリア）においても引き続き説明会を実施し、それぞれのエリアにおける将来予想の実現に向けた取組に関する意見交換と、小学校跡地活用に関する議論を進めてまいります。



## 説明会出席者の意見（一部抜粋・要約）

2057年の人口推計を見越した将来的な小中学校の今後の動向は鳥飼まちづくりランドデザインと整合が取れているか？

小学校統廃合跡地の利用は、まちづくりにどう活用するか、次の投資の基本で、エリアごとではなく鳥飼全体の起爆剤として活用されるべきである。

製造業、飲食業等の業界別、また教育・子育て関係などグループごとに意見を聞く場を設ければ、広く意見を集めることができ、鳥飼まちづくりランドデザインの市民への周知になるのではないかな？

安心して定住してもらうためには、企業と連携し雇用を生む観点が必要。

跡地活用は、用途を限定せず、多種多様な人が関係できるようにするべき。例えば、曜日や時間帯を分けた利活用を考える等の工夫が必要。



説明会の資料や議事録等は摂津市HPに掲載していますので、是非ご覧ください。



資料・議事録等は[こちら](#)

## 【イベントでの周知活動】淀川河川敷の賑わい創出に向けて

令和6年6月2日（日）に開催された第13回淀川わいわいガヤガヤ祭では、地域の市民・団体・事業所等による様々な出店により多くの賑わいが見られました。

鳥飼地区まちづくり担当ブースでは、淀川河川敷の賑わい創出に向けてこれまで行ったワークショップテーマについて、イベント来場者から幅広い意見の聞き取りを行い、まちづくりの将来予想の実現に向けて何が必要かを考えることとしました。



摂津市市長公室政策推進課  
(鳥飼地区まちづくり担当)  
06-6170-1655

鳥飼まちづくりランドデザインについて  
知りたい方は[こちら](#)をご覧ください→

